

# 令和5年度 文化スポーツ部組織目標

<b>組織名</b>	文化スポーツ部	<b>部長</b>	高田 章子
<b>組織の目的・方向性</b>	<p>市民一人ひとりが心身ともに充実した生活を送ることができるよう、文化芸術・スポーツの振興を図るとともに次代を担う子どもたちへの豊かな感性や創造力の育成に取り組みます。</p> <p>また、文化芸術・スポーツの持つ多様な価値を、観光や産業、まちづくり、国際交流、福祉、教育などの分野に幅広く活用し、まちの活性化を目指していきます。</p>		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動（鑑賞含む）を行う市民の割合</li> <li>・文化的な環境への満足度</li> <li>・週1日以上スポーツをする市民の割合</li> <li>・スポーツ環境への満足度</li> </ul>		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

## 文化スポーツ部組織目標

徐々に社会・経済活動が回復していく中で、市民が以前にも増して文化・スポーツ活動に親しみ、健康で心豊かに暮らせることが大切です。

多くの市民に向けて、文化芸術活動やスポーツ活動に親しむ機会を充実するなど文化・スポーツ活動を振興していきます。

また、スポーツを通じて楽しさや喜びを得る機会を提供するための指導者の育成と合わせてアスリートの育成・強化にも取り組みます。

さらに子どもたちへの感性や創造力の育成とともに市民の地域への誇りや愛着の醸成を図るため、地域に根ざした文化を適切に保存・継承していきます。

そして、文化芸術・スポーツの持つ多様な価値を他分野に幅広く活用し、まちづくりに役立てていきます。

この方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

### 重点目標

- 1 市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を提供するとともに、文化施設における様々な展示などを通じて、市民の文化芸術活動を振興します。
- 2 スポーツを取り巻く様々な環境の変化に対応しながら、スポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。
- 3 次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実します。
- 4 文化財等を着実に次代へ継承できるよう計画的に保存に向けた整備や調査を行います。
- 5 みなとまち文化や踊り文化などを磨き上げるとともに、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントの開催などにより、文化・スポーツを通じた交流人口の拡大や共生社会の実現を目指します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 新潟市美術展、にいがた市民文学の公募事業を通じて、市民が創作・発表することができる機会を提供しました。新潟市美術展は応募者数が前年度を下回ったものの、18歳以下の応募の増や、美術講座受講者の応募の増により応募者が増加した部門もありました。にいがた市民文学については、学校単位での応募の有無により応募者数が大きく変動する傾向があり、前年度飛躍的に伸びたことも要因となり、今年度は目標に至りませんでした。</p> <p>2 指定管理制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携しながらスポーツ施設の利用促進を図りました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者数が大幅に改善しました。</p> <p>3 次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育む取り組みとして、プロオーケストラによる演奏会（オーケストラはキミのともだち）を開催するとともに、小学校へのアウトリーチを実施しました。演奏会の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による社会経済活動の回復もあり、前年度及び目標値を大きく上回り、アウトリーチについても目標値同数の45校における実施を達成しました。</p> <p>4 国重要文化財旧笹川家住宅については、能登半島地震により土蔵や主屋の壁の崩落、建築部材の垂下、建具のゆがみやはずれが生じましたが、文化庁や新潟県と緊密に連携しながら復旧に向けた取り組みを進めました。また、当該住宅を適切に保存・管理し、確実に継承していくため、地震の前から取り組んでいた整備基本計画を策定しました。</p> <p>5 本市の特色ある歴史文化に対する関心を高め、その魅力を口コミやSNSで発信してもらい、交流人口の拡大につながるように、本市の歴史文化の紹介に取り組んだ結果、各種講座の開催数や参加人数は指標を上回ることができました。</p> <p>マンガ・アニメ文化を磨きあげる取り組みとして、業界関係者や市民を対象としたパブリックコメントでの意見聴取を参考に「体験機会の創出」、「クリエイターの育成支援」、「他分野への活用推進」を指針とした第3期構想を策定しました。</p> <p>また、共生社会実現に向けた取組である展覧会「あるれる思い ふれる気持ち2023」においては、定期的な開催や、障がい者施設への広報により応募作家数が増加したほか、障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援のマッチングについては、大学の部活動やサークルへの登録の促進を図ることなどにより件数が増加し、目標を大きく上回りました。</p> <p>新潟シティマラソンを開催し、市民の健康保持・増進を図るとともに、新潟の特色を活かしたコースとすることで、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図りました。</p>				
	今後の方向性	<p>市民の文化芸術活動やスポーツ活動は新型コロナウイルスの5類移行により、コロナ禍前の状況に戻ってきました。</p> <p>一方で、令和6年1月に発生した能登半島地震により歴史的建造物、文化施設及びスポーツ施設は大きな被害を受けており、文化芸術活動、スポーツ活動が再び後退、停滞することのないよう、市民の活動の拠点となる施設の早期復旧や、歴史的景観が維持できる対策を講じていきます。</p> <p>今後も、更なる文化芸術活動、スポーツ活動の発展・継承のため、市民活動の支援、市民への情報提供及び次世代の育成に取り組むとともに、文化・スポーツの持つ多様な価値を、観光、産業、まちづくり、国際交流、福祉、教育など多様な分野に活用し、交流人口の拡大やまちの活性化に寄与していきます。</p>			